



▼効率化と運賃

「情報で業務を見直す」と武藤幸規第一貨物社長。集荷時点で荷量や配送先データを全社で共有できるPOSデータを活用。「集配から事務まで効率的に作



業。労働時間を年間延べ二十万時間減らす」。話は運賃とも絡む。「数年前から改定に取り組むが、従業員の頑張りに見合うだけの運賃にはまだ届かない。

だから自助努力との両輪で」(矢田 健一郎)